

【関係法規・制度及び運営管理】

- 問題 1 美容師法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか
- ① 美容師法は、美容師の資格を持った者でなければ、美容の業を行えないとしている
 - ② 美容師法は、美容師のための法律であり、国民全体の法律ではない
 - ③ 外国人でも、美容師免許を取得することはできる
 - ④ 美容師法は、美容業が適正に行われるように規律し、もって公衆衛生の向上に資することが目的である
- 問題 2 美容師試験に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか
- ① 美容師試験は、自分の本籍のある都道府県で受けなければならない
 - ② 美容師試験は、厚生労働大臣が指定した試験機関に実施に関する事務を行わせることができる
 - ③ 受験にあたって、年齢の上限、性別、その他の資格の制限はない
 - ④ 美容師試験に合格すれば、合格証書が交付される
- 問題 3 美容師の免許に関する次の記述のうち、正しいものはどれか
- ① 美容師免許の申請にあたっては、添付書類として結核及び伝染性皮膚疾患に関する診断書が必要である
 - ② 美容師の免許の申請には合格証書を添えなくてもよい
 - ③ 美容師が、本籍地を変更し都道府県名が変わった場合は、新しい本籍地の都道府県知事に美容師免許証の書き換え交付を申請しなければならない
 - ④ 美容師が、氏名を変更した場合は、都道府県知事に美容師名簿の訂正を申請しなければならない
- 問題 4 美容所の開設に関する次の記述のうち、正しいものはどれか
- ① 美容所を開設するためには、その届出とさらに検査を受けるための届出が必要である
 - ② 美容師ではない従業者の氏名は届け出なくてもよい
 - ③ 美容所の開設者は、届出事項を変更するときは、変更があったのち速やかに都道府県知事等へ届け出なければならない
 - ④ 美容師が結核、皮膚疾患その他厚生労働大臣の指定する伝染性疾病にかかっていない場合には、美容所の開設届に医師の診断書を添付する必要はない
 - ④ 美容師が結核、皮膚疾患その他厚生労働大臣の指定する伝染性疾病にかかっていない場合には、美
- 問題 5 出張美容に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか
- ① 婚礼その他の儀式に参列する者に対して、その儀式の直前に美容を行う場合は、出張美容が認められ
 - ② 特別の事情があるとして出張美容が認められる場合、事前に都道府県知事等へ届け出なくてもよい
 - ③ 出張美容が認められない場所で美容の業務を行った美容師に対しては、30万円以下の罰金に処せられることがある
 - ④ 出張美容を行う美容師に対しても、衛生上必要な措置を講ずることが求められる

- 問題6 美容師法に基づく衛生上の措置等に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか
- ① 美容師及び美容所の開設者が講ずべき衛生上の措置は、美容師法に基づき都道府県の条例でも定めら
 - ② 美容師法に定める衛生上の措置の実施状況については、環境衛生監視員の立入検査を受けることが
 - ③ 美容所の開設者が美容師法に定める衛生上の措置を講じなかった場合、業務停止処分を受けること
 - ④ 美容師が結核や伝染性の皮膚疾患に罹患した場合は、美容師法に基づき業務停止処分を受けること

- 問題7 違反者に対する行政処分に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか
- ① 都道府県知事は、美容所の開設者に対する閉鎖命令をするときは、行政手続法に基づき、処分を受ける者に対して、意見陳述の機会を与えなければならない
 - ② 美容所の開設者が美容師法に定める衛生上の措置を講じなかった場合、期間を定めてその美容所の閉鎖を命じられることがある
 - ③ 精神の機能の障害により、美容師の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者に該当するときは、業務停止処分を命じられることがある
 - ④ 美容所の開設者が、美容師でない者に美容の業を行わせたときは、期間を定めてその美容所の閉鎖命令を命じられることがある

問題8 次のうち、労働者災害補償保険の給付に該当するものの組み合わせはどれか。

- a 育児休業給付
 - b 介護休業給付
 - c 療養補償給付
 - d 遺族補償給付
- ① a と b ② b と c ③ c と d ④ a と d

- 問題9 労働基準法に関する記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 同居の親族のみを使用している場合、労働基準法は適用されない。
 - ② 美容所の使用者は、従業員の意思に反して、労働を強制することができる。
 - ③ 美容所の使用者は、契約の際に従業員に賃金と労働時間を明示すれば、その他の労働条件は明示しなくて良い。
 - ④ 美容所の使用者は、従業員に一定の休日を与える必要があるが、一定の休憩時間を与える必要はない。

問題10 雇用保険の被保険者になる条件として、誤っているものはどれか。

- ① 適用事業所に雇用されるものであること。
- ② 週の所定労働時間が20時間以上であること。
- ③ 継続して31日以上雇用見込みがあること。
- ④ 個人事業主や法人の役員であること。

衛生管理

【公衆衛生・環境衛生】

問題11 公衆衛生の歴史上の人物とその業績に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか

- ① ウィンスロー・・・細菌を順培養し、分離する研究方法を確立

- ② パスツール・・・・・・・・・・低温殺菌法の考案
- ③ アンダーウッド・・・・・・・・結核菌や多数の病原微生物の発見
- ④ コッホ・・・・・・・・・・種痘法の開発

問題12 わが国の人口の高齢化に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 高齢者の医療の確保に関する法律では、後期高齢者とは、75歳以上の高齢者である
- ② 2020年のわが国の高齢者人口は、約2300万人である
- ③ 高齢者人口の対象年齢は、60歳以上である
- ④ 2020年の国勢調査では、高齢者人口の割合は、38.6%である

問題13 心の健康づくりに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① うつ病は、早期発見と適切な治療で改善することはない
- ② 心の病には、統合失調症、躁うつ病、人格障害などさまざまなものがある
- ③ 心の健康を保つためには、休養、ストレス管理、睡眠障害の対応、心の病気への対応があげられる
- ④ 世界の人口のうち、3%～5%がうつ病である

問題14 室内の環境に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 北向きの窓では照度が高く、南向きの窓では安定した照度が得られる
- ② 冷房病とは、体温調節機能のバランスを失うことである
- ③ 狭い室内に多くの人がいると、呼吸による二酸化炭素によって、室内の空気が汚染されるので、適切な換気が必要である
- ④ 気流とは空気の流れのことである

問題15 わが国における廃棄物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 美容所より排出される髪の毛は、事業系一般廃棄物である
- ② 一般廃棄物の焼却処理は、減量化と衛生的な処理のために行われる
- ③ 廃棄物の処理を委託される業者には、許可が必要とされている
- ④ 事業系一般廃棄物を除く一般廃棄物の処理は、都道府県の責任で行われる

【感染症】

問題16 細菌に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① DNAとRNAの両方を持つ
- ② すべての細菌の発育には酸素が必要である
- ③ 芽胞をつくるものがある
- ④ 菌体の周囲に鞭毛を持ち、これを動かして運動するものがある

問題17 感染症法の四類感染症に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 医師は、診断後7日以内に届出の義務がある
- ② ヒトからヒトへの直接の感染はない
- ③ デング熱は、四類感染症である

- ④ ネズミの駆除などの措置ができる

問題18 感染及び発病に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 感染しても発病していないという状態を不顕性感染という
- ② 健康な人なら通常感染を起こさない病原性の低い病原体により、感染、発病を起こすことを持続性
- ③ 病原体に感染して人体内部の組織や臓器に何らかの病的変化が起こる場合を、発病という
- ④ 病原体が人体の内部組織に侵入して発育、増殖する状態を感染という

問題19 予防接種に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 法に基づく予防接種には、定期に行うものと臨時に行うものがある
- ② どの疾病も接種回数は1回である
- ③ 対象疾病により接種対象年齢は異なる
- ④ 対象疾病や実施方法は予防接種法によって定められている

問題20 麻疹に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 感染力は非常に強い
- ② 全身に小さな発疹ができる
- ③ 定期予防接種が実施されている
- ④ 別名、三日はしかともいう

【衛生管理技術】

問題21 器具を消毒する際の注意事項に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 消毒するものの性質に注意し、適当な消毒薬や消毒法を選ぶこと。
 - b 希釈した消毒薬使用液は、定期的に作り直す必要はない。
 - c 消毒薬使用液の容器として食品に使うものを使用してもよい。
 - d 病原微生物の種類、抵抗力に応じた方法、時間などを考えること。
- ① a と b ② b と c ③ c と d ④ d と a

問題22

理学的消毒法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 蒸気消毒は毒性が残らない。
- ② 煮沸による消毒は、美容師法施行規則に定める消毒法の中で最も短時間で効果を表すが、血液が付着した器具には適用できない。
- ③ 紫外線消毒は、被消毒物件の内部まで消毒できるが、細菌の芽胞やウイルスには効果がない。
- ④ 血液が付着及びその疑いのある器具の消毒には、紫外線や蒸気による消毒法が適用できる。

問題23

血液が付着した器具や布片とその消毒法に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① タオル・・・・・・・・・・蒸気消毒
- ② ハサミ・・・・・・・・・・消毒用エタノールでふく消毒
- ③ タオル・・・・・・・・・・次亜塩素酸ナトリウムで浸す消毒
- ④ カットニングコーム・・・・紫外線消毒

問題24 すぐれた消毒法の条件に該当しないものは、次のうちどれか。

- ① 使用液の調整が容易なこと。
- ② 短時間に殺菌できること。
- ③ 消毒の効果が確実であること。
- ④ 被消毒物件に悪臭を残すこと。

消毒薬使用液（希釈液）の調製に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 問題25 ① 5%次亜塩素酸ナトリウム液1mlを水999mlで希釈して、0.01%の水溶液1ℓを作った。
- ② 15%両性界面活性剤を100倍に希釈して、0.1%の水溶液を作った。
- ③ 5%次亜塩素酸ナトリウム液を100倍に希釈して、100ppmの水溶液を作った。
- ④ 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlを水495mlで希釈して、0.05%の水溶液を作った。

保健

【人体の構造及び機能】

問題26 血液成分の働きに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 赤血球は、ガス交換と関係深い。
- ② 白血球は、核をもたない。
- ③ 血小板は、体の防衛に貢献している。
- ④ 血球成分のほとんどが白血球である。

問題27 血液に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 必要な物質を細胞に送り、不要な物質を運び去る役割を持つ。
- ② 体重の約20%を占めている。
- ③ 白血球は、血管の穴をふさいで止血する。
- ④ 血管から出ると、凝固がはじまり、これを血清という。

問題28 眼球を形成する次の膜のうち、色や明暗を感じる細胞のある膜はどれか

- ① 角膜
- ② 結膜
- ③ 脈絡膜
- ④ 網膜

問題29 次の血管のうち、酸素を豊富に含んだ動脈血が流れているものはどれか

- ① 門脈
- ② 肝静脈
- ③ 肺動脈
- ④ 肺静脈

問題30 次の動脈のうち、頭部又は頸部に存在しないものはどれか。

- ① 冠状動脈
- ② 上唇動脈
- ③ 内頸動脈

④ 後頭動脈

【皮膚科学】

問題31 皮膚の構造に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 色素細胞で作られたメラニンの数は、白色人種や黒色人種などの人種によって大きく異なる。
- ② 角化細胞（ケラチノサイト）は、約1ヶ月かけて基底細胞から角質細胞に分化する。
- ③ メルケル細胞は、表皮内に侵入した抗原物質（アレルゲン）を取り込むはたらきがある。
- ④ 真皮は、コラーゲンからできた膠原線維が大部分を占めている。

問題32 皮膚付属器官に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 毛根の下端のフラスコ状に膨らんだ部分を毛球とよぶ。
- ② 毛のケラチンは、全体として長軸の方向に鎖状に結合しているため、縦に裂けやすい。
- ③ 脂腺の数は、体の部位によって違いがあり、頭毛の生えている部位、額、眉間、鼻翼、下顎には多
- ④ 爪は成長周期を繰り返している。

問題33 皮膚の生理機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚には、痛点、触点、温点、冷点が分布している。
- ② 紫外線UVBを浴びると、メラニンが大量につくられ、皮膚の色が黒くなる。
- ③ 皮脂に含まれる脂肪酸は、一部の細菌や真菌の発育を抑制する。
- ④ 皮膚の表面には、汗と皮脂が混じり合い、乳化した状態の薄い膜がある。

問題34 皮膚と皮膚付属器官の保健に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮膚の状態は、全身の健康状況によって変化する。
- ② 成人では、加齢とともに、皮膚の分泌作用や新陳代謝が低下し、皮膚は乾燥し硬くなる。
- ③ 健康な成人の皮膚の表面は弱酸性である。
- ④ 脂腺から分泌される脂肪は、毛の光沢としなやかさを保つ役割がある。

問題35 皮膚疾患に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 接触皮膚炎（カブレ）は、種々の化学物質や薬剤などが皮膚に接触して発生する皮膚の炎症であ
- ② 蕁麻疹は、食物や薬によるもののほか、花粉、ダニ、寒冷、温熱、日光などの外的刺激によるものも
- ③ ニキビは、毛包が角質の栓で詰まることなどによりでき、炎症へと進むことがある。
- ④ 頭部白癬は、分泌異常によって引き起こされる。

【香粧品化学】

問題36 高分子化合物に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 天然高分子化合物 ――― ニトロセルロース ――― カラーエナメル
- ② 半合成高分子化合物 ――― アルギン酸ナトリウム ―― ウォッシングパック
- ③ 合成高分子化合物 ――― ポリビニルピロリドン ―― ヘアスプレー
- ④ 天然高分子化合物 ――― コラーゲン ――― クリーム

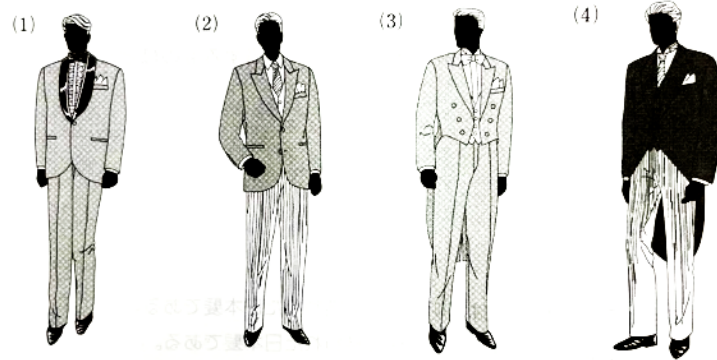
- 問題37 ヘアマニキュアに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① ヘアマニキュアは、酸性染毛料とも呼ばれる。
 - ② 酸性染料は、水に溶かすとマイナスの電気を帯びる。
 - ③ 毛髪内では、酸性染料とケラチンタンパク質とが電氣的に引き合っている。
 - ④ ヘアマニキュアには、わずかに脱色作用がある。
- 問題38 酸化染毛剤を用いたヘアカラーリングの前に行う皮膚アレルギー試験（パッチテスト）に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 染毛の30分前に行う。
 - ② 第2剤を皮膚に塗る。
 - ③ 塗った部分は絆創膏等で覆わない。
 - ④ かぶれが生じた場合、別の酸化染毛剤でもう一度試験を行う。
- 問題39 酸化染毛剤に含まれる成分と、そのはたらきに関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。
- ① 過酸化水素 ————— アルカリ剤
 - ② レゾルシン ————— 調色剤（カップラー）
 - ③ アンモニア水 ————— 酸化剤
 - ④ パラフェルニンジアミン —— 調色剤（カップラー）
- 問題40 香粧品に用いられる色材とその分類に関する次の組合せのうち、誤っているものはどれか。
- ① 酸化鉄 ———— 着色顔料
 - ② 雲母チタン —— 光輝性顔料
 - ③ タルク ———— 体質顔料
 - ④ 亜鉛華 ———— 天然色素

【文化論及び美容技術理論】

- 問題41 1950年から1980年代にかけての髪型や服装に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか
- ① 1950年代には、映画『ローマの休日』の影響から、ヘップバーンカットが流行した
 - ② 1970年代に流行した髪型であるソバージュは、襟足を長めにして段々に削いでいくため段カットともよばれた
 - ③ 1980年代に流行した聖子ちゃんカットは、前髪は目に掛かるか掛からないほどにし、サイドは後ろへ流す髪型である
 - ④ 1981年からパリコレクションに進出した山本耀司、川久保玲のデザインが「黒の衝撃」として注目された

問題42

下記の男性の礼装のうち、燕尾服はどれか



問題43

和装の礼装に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 黒縮緬の総模様に五つ紋を染め抜いた振袖の下に、白羽二重の下着を重ねたものは、黒振袖とよんでおり、打掛を重ねなくとも正式の花嫁衣裳とされている
- ② 黒留袖は、既婚者の礼装として用いられる
- ③ 掛下、帯、小物等すべてを白一色でまとめた花嫁衣裳を白無垢という
- ④ 和装の礼装のうち、未婚の女性の礼装で振袖の場合、染め抜き三つ紋が正式である

問題44

頭部の基準となるポイントの次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① トップポイント・・・・・・前頭部の生え際と正中線の交わった点
- ② バックポイント・・・・・・正中線上で後頭部の一番凸の部分
- ③ ゴールデンポイント・・・・・・頭部の頂点で正中線上の点
- ④ ネープポイント・・・・・・耳のつけ根の上の部分

問題45

ブラシの手入れ方法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 使用したブラシは、洗浄を行う前に消毒する。
- ② 洗浄したブラシは、毛が変形しないよう、毛を上に向けて乾かす。
- ③ チークブラシは、揉み洗いし汚れを落とす。
- ④ 動物毛のブラシは、汚れが付きにくいので、使用の都度洗浄・消毒を行う必要がない。

問題46

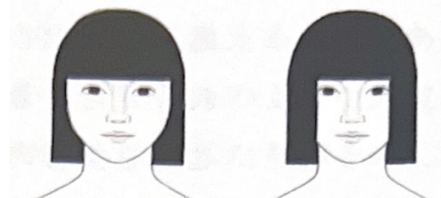
リンス剤に配合されているカチオン界面活性剤に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせ

- a 洗浄効果を高める
 - b 泡立ちをきめ細かく、豊かにする
 - c 保湿力を高める
 - d 毛髪の静電気を防止する
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

問題47

下の図は、前髪の幅の違いによって目の間隔が右のほうが広く見える錯覚である。この錯覚はなんと言われるものですか。

- ① ポンゾ錯視
- ② ツェルナー錯視
- ③ ジョバネッリの錯視



④ 分割距離錯視

問題48

ヘアカッティングの技法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ロングストロークカットは、パネルの毛先のみストロークし、軽やかな動きをつくり出す。
- ② トリミングカットは、カッティングされたラインをさらにカットし、修正して仕上げる。
- ③ スライドカットは、毛先を尖らせたり、軽くしたりする。
- ④ ポインティングカットは、毛の長さを変えずに、毛先だけを薄くする。

問題49

縮毛矯正に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 毛髪をパネルなどに貼り付けてコーミングすると断毛等の原因となる。
 - b 縮毛矯正剤には、高温整髪用アイロンを使用するものもある。
 - c コーミングの際は、しっかりとテンションを加え伸ばす。
 - d 根元の部分から第1剤（1液）を塗布し、根元からウェーブやくせ毛、ちぢれ毛をのばす。
- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

問題50

パーマネントウェーブ用剤に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 2浴式コールドウェーブの第2剤の酸化剤は、切断されたシスチン結合を再結合する。
- ② 2浴式コールドウェーブの第1剤のアルカリ剤は、シスチン結合を切断する。
- ③ 2浴式コールドウェーブの第2剤は酸化剤として臭素酸ナトリウムや過酸化水素水が使用される。
- ④ 2浴式コールドウェーブの第1剤のアルカリ剤は、アンモニアが使用される。

問題51

ピンカールに関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① スカルプチュアカール・・・根元巻き方式
- ② リフトカール・・・・・・・・・・フラットカール
- ③ メイポールカール・・・・・・・・シェーピングカール
- ④ クロッキノールカール・・・・・・・・毛先巻き方式

問題52

色の基本に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① プライマリーカラー（色の三原色）とは、赤、黄、青の3色である。
- ② 明度は色の鮮やかさのことで、彩度は色の明るさのことである。
- ③ 明度と彩度が組み合わさった調子を色のトーンという。
- ④ プライマリーカラーを2色ずつ混合したものをセコンダリーカラーという。

問題53

フェイシャルケアの順序に関する次の記述の（ ）内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。
洗顔→クレンジング→ディープクレンジング→（ A ）→（ B ）→（ C ）→（ D ）

A B C D

- ① 整肌・・・フェイシャルマッサージ・・・フェイシャルパック・・・保湿
- ② 保湿・・・フェイシャルパック・・・フェイシャルマッサージ・・・整肌
- ③ フェイシャルマッサージ・・・フェイシャルパック・・・整肌・・・保湿
- ④ フェイシャルパック・・・整肌・・・保湿・・・フェイシャルマッサージ

問題54 マニキュア技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 古いエナメルは、キューティクルリムーバーで取り除く
- ② 爪の形と長さは、エメリーボードで整える
- ③ 爪からはみ出たエナメルは、ネイルバッファーで取り除く
- ④ ベースコートは、エナメルを保護し艶を与えるために塗る

問題55 留袖の着付けに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 帯揚げや帯締めは、通常色柄を用いる。
- ② 帯の折り幅は、若い人の場合は狭くする。
- ③ 体型補整は、肌襦袢を着せてから行う。
- ④ 衣文の抜きの基本は、にぎりこぶし2個が入る程度とする。